

「未来のさがみはらを考えるシンポジウム」結果概要

1 目的

- ・次期総合計画（基本構想）の策定に当たり、未来に向けたまちづくりの方向性を市民と共に考え、共有するとともに、市民の市政に対する意識の高揚を図ることを目的として開催
- ・本シンポジウムを通じて市民が感じた将来のまちづくりに対する思いや感想をアンケートにより聴取し、次期総合計画への反映に努める。

2 参加者

327名

3 開催日・会場

平成30年7月27日（水）19時00分～21時30分

社のホールはしもと ホール

4 内容

19時00分～19時58分 基調講演

「相模原が拓く日本の未来～相模原モデルの可能性～」寺島 実郎氏(多摩大学学長)

20時08分～21時30分 パネルディスカッション

テーマ：「人口減少時代におけるまちづくり」

【コーディネーター】平岩 夏木氏(株)エフエムさがみ 代表取締役)

【パネリスト】牛山 久仁彦氏(明治大学政治経済学部 地域行政学科長・教授)

中島 隆子氏(子育て親育ち応援団 With.cfc 代表)

飯島 沙織氏(ノジマ相模原ライズ クラブマネージャー)

加山 俊夫(相模原市長)

5 基調講演（概要）

- ・リニア中央新幹線の開通について、東京・名古屋間が40分で結ばれることに論点がいきがちであるが、神奈川駅を含めた中間駅のインパクトが重要である。
- ・圏央道のインパクトにより、劇的に、東京をとりまく高速道路が変わり始めている。橋本は、リニアの神奈川県駅と圏央道がリンクする地域であり、大変重要な意義を持ち始めている。この相模原がどう変わるのか、日本の将来にとって、相模原モデルというのは大きな実験である。物流と人流が繋がる場所であるという意味において、相模原に注目している。
- ・中国のGDPの急増など、急成長するアジアのダイナミズムをどう取り込むかが、日本の将来にとって

重要である。アジアへの物流において、日本海側の港湾への物流のシフトが起きており、圏央道によって太平洋側と日本海側を戦略的につなぐことが、アジアのダイナミズムを取り込むための鍵となる。

- ・リニア中央新幹線について、品川に数分で行ける事もさることながら、甲府に10数分でいけることが相模原をどう変えるのかという論点が重要である。例えば、相模原、甲府、飯田、中津川、名古屋では同等のマンションを購入するにもコストが違う。こうしたギャップがリニアによって変わるのか、またギャップをどのように戦略的に活用するのか、考えていかなければならない。
- ・高齢化や高齢者の単身化が進む中、高齢者が増えるということは年金や介護などの社会的なコストの負担の増であるということではなく、高齢者に社会的に意味のある形で参画してもらうプログラムを作り上げていくべきであり、それをジェロントロジー（高齢化社会工学）と呼んでいる。高齢者に生産的に貢献してもらうためのプロジェクトを構築できるかは、これからの地域社会の安定にとって大きな意味がある。
- ・特に必要なのが、都会と田舎の交流である。農業や食農が至近距離にあることは、人間の存在にとって大きな意味がある。参加して貢献して、自分自身も社会的な存在として大いに役に立っていると確認できる高齢化社会を作らないと、不安定な高齢化社会になってしまう。

6 パネルディスカッション（概要）

【相模原市の良さや強みについて】

- ・古いものと新しいもの、都市と自然など、異なるものが混ざり合い、助け合いながら地域を作っているところ
- ・市民が、地域の課題の解決に向けて、市と協働して取り組んでいくための仕組みがあること、自ら地域の課題に取り組んでいく熱い思いの市民がいること
- ・市民の活力があること、都心からのアクセスが良いこと、豊かな自然があること、人が集う場があること、若い世代を抱える大学があること
- ・豊かな自然環境と、市街地や働く場が融合しているところ

【人口減少の進行を踏まえ、今後取り組むべきこと】

- ・どの世代も均等に人口が減っていくのならよいが、少子高齢化が進行することが課題である。住民が自ら地域社会を作っていく体制づくりが必要である。
- ・行政が高齢者を支えるという発想になりがちであるが、高齢者がその知識や経験をいかしながら、地域づくりに参画していくことが重要である。
- ・市の財政が縮小していくなか、政策の優先順位を付くことが大切である。
- ・子育て広場のような、子育てを支えていくための場の充実が必要である。
- ・ホームタウンチームについて、市のチームということで応援してくれる方も増え、今後も地域への愛着の醸成などに貢献できればと考えている。
- ・保育所や児童クラブなどを充実させてきているが、子どもの数が全体として減っていることを踏まえ、今後の方向性を考えなければならない。